

神戸地域夢会議「夢 子どもがつくる人・まち・こころ」

と き	平成 16 年 4 月 1 日～4 日
と ころ	兵庫県民会館
参加人数	54 人（科学実験教室） 41 人（居場所づくりフォーラム）

開催趣旨

神戸地域ビジョン委員会で『青少年の健全育成』というテーマに取り組むグループの活動の一環として、こども絵画展、こども科学実験教室、青少年の居場所づくりフォーラムを同時開催し、子供の持つエネルギーをもっと豊かに活かすための取り組み事例を知り、意見交換を通じて、青少年の健全育成について考えます。

テーマ 子供のもつ力をもっと伸ばそう

青少年の居場所づくりフォーラム

開催趣旨

次の世代を担う若者がもっと豊かに育って欲しい！

10代が「自分らしく振る舞えたり、充実感が得られるような居心地よいところ」とは？

若者と関わる活動の事例を聞いたり、経験から見えてきたことや課題を話し合いました。



パネラーの発表

足立 恭子さん（太山寺中学校育友会 愛護委員長）

西区学園都市で、毎年2月に「子どもがつくる子どもフォーラム」を開催しています。

企画運営も、大人ではなく中高生がやります。今後はこれらの意見を何らかの具体的な活動に発展させていけないか考えていくことが課題だと思います。

吉永 正直さん（神戸市立南五葉児童館長）

時代の変化に伴い、最近の子どもたちの居場所は失われがちです。このため、児童館が地域でその機能をもっと果たせるように、小学生のみならず中学生・高校生にも足を運んでもらおうと、働きかけに力を入れています。

岡田 晋爾さん（ユースプラザKOB E 事務局）

ユースプラザKOB E・WESTの事務局で、日々中高生と接しています。施設を中高生に安価に貸し出し、年4回ほどのイベントも、高校生に自分達で作りあげてもらいます。中高生を支え、だめな時は別の方法を考えるよう促しながら、成長を見守っています。

田中 茂延さん（ユースプラザ青少年育成ボランティア）

中高生の恋占いのコーナーを担当しています。占いの対象は、高校生の女子生徒が中心です。中高生に接していると、話の内容の短さが気になりますが、全般的に人なつっこく、ひたむきで純情な子たちだと思います。「さよなら、またおいで」というこちらのあいさつに対して「また来るわ」という子の目は輝いています。

まとめ 辻 幸志さん（NPO法人こうべユースネット事務局長）

居場所とは、自分の存在がそれによって明確になり、そこから生きる方向性を見出していけるような場所を指すと思います。居場所を感じるのは自分自身であり、大人が中高生の居場所を決めるのではありません。子どものそれぞれが自主的に考え、人と接しているんな話ができる、そういう場所がたくさんあるようにしていければよいと考えます。



わくわく！科学実験教室

「**潜望鏡**」(4月3日開催)

潜水艦にも付いている「潜望鏡」を作りながら、鏡の性質を調べていきました。

まずは頭の体操。自分の名前を鏡に映ったときに正しく映るように書いてみます。これが意外と難しい！

潜望鏡がいよいよ完成。さっそくのぞいてみます。

何が見えるかな？

周りのみんなと協力して、いくつもつなげて、電灯の光を当ててみます。ちゃんと一番先まで届いているかな。

実は、光はこういうふうに通っているのです。



「**オーブレック**」(4月4日開催)

正体不明の粉「オーブレック」。今日は、この粉を目で見たり、触ったり、においをかいだり…。いろいろな方法で調べます。例えば、この粉に水を加えてこねると…？

こねるときの子もたちの様子は泥遊びのようです。

粉は薄い緑色に変色したペースト状の物体になりました。

ゆっくり指を突き刺すとペーストは指にまとわりついてきますが、グーでたたきつけると硬い手ごたえがありました。

子どもたちがいろいろ触ってみたこの粉の正体は、実は「コーンスターチ」でした。



子ども絵画展

障害児と健常児が同じステージに立って、描く・つくる・心を育てる・・・

『青少年育成文化芸術団体 ぷちぱんそー』が主体となって実施した絵画展です。

